

+ 稲毛区赤十字奉仕団活動紹介 +

幼稚園バザーと救急法・ハイゼックス

7月13日（月）、小中台幼稚園のチャリティバザーが開催され、奉仕団員15名で参加しました。

救急法では多くの親子が体験され、「子どもの人形で体験できてよかった」というママの声も聞かれました。

また、ハイゼックスは120食を無料配布しました。

ハイゼックス袋で、マカロニ入りシチューや様々な味のごはんにチャレンジし、大成功！袋の特性を生かして色々なものが出来るのが解かったので、次はこの袋でプリンや蒸しパン等、デザートも作ってみたいです。



HUG 訓練

9月9日（水）、稲毛保健福祉センターでHUG訓練を行い奉仕団員26名が参加しました。HUGとは、H(避難所)、U(運営)、G(ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「(避難者を優しく受け入れ)抱きしめる」という意味もあるそうです。

大災害発生時の避難所運営を皆で考え、避難者の年齢や国籍、抱える問題などが書かれたカードを使用し、避難所の平面図に適切に配置できるかを模擬体験し、ゲームを通して災害時の要援護者への配慮や部屋割を考えたりするなど、意見を出し合いながら避難所の運営を学びました。

「経験したことは役に立つはず！避難所が立ち上がった時に赤十字奉仕団として落ち着いて行動したい」との感想も聞かれました。



町内会との合同防災訓練

稲毛区小中台町公園で小中台町内会の防災訓練が行われました。
稲毛区赤十字奉仕団 16 分団はハイゼックス 50 個を、町内会の方々に指導しながら作成し、地域の方々に無料配布しました。

この地域は防災用も兼ねてカマドを所有。火力が強く蓄熱効果の高い薪とカマドを用いてハイゼックス炊飯をしました。

他にも、防災普及公社から起震車と煙体験車が出勤し、体験していました。



稲毛区赤十字奉仕団の特徴としては、各分団が地元に着して、自治会の防災訓練、幼稚園バザー、学校、地区部会などとコラボレーションして活動しているところです。